



電気情報科

高知市 県内3工業高生が メガソーラー見学

県内三つの工業高校の生徒たちが24日、高知市の瀬戸・長浜地区にまたがる大規模太陽光発電所（メガソーラー）を見学し、発電の仕組みやそれを支える設備技術を学んだ。

門技術の大切さや地元就職を考えてもらおうと企画した。

高知工業、高知東工業、須崎工業の3校で電気技術を学ぶ1年生計約80人が参加。荒川電工（高知市）が手掛ける出力規模5分の発電所を訪れた。

生徒たちは約7分の敷地に太陽光パネル約1万9千枚がずらりと並ぶ風景に驚き、担当者に「さらに発電効率を上げるにはどうすればいいか」などと質問。太陽熱の集熱装置や太陽光パネルの検査ラインなども熱心に見て回った。

須崎工業高の田口瑞基さん(16)は「あんなにたくさんパネルで発電しているのを初めて知った。電気系の仕事に興味がある」と話していた。

太陽光発電の仕組みを学ぶ工業高校の生徒たち（高知市長浜）



（大野泰士）

電気情報科1年生 企業見学実施！

